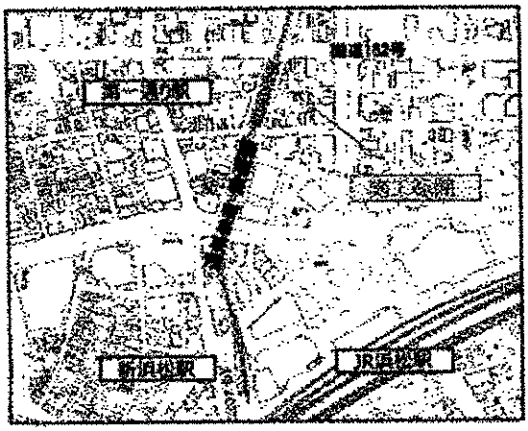
国に対する要望事項

浜松市　NO. 14

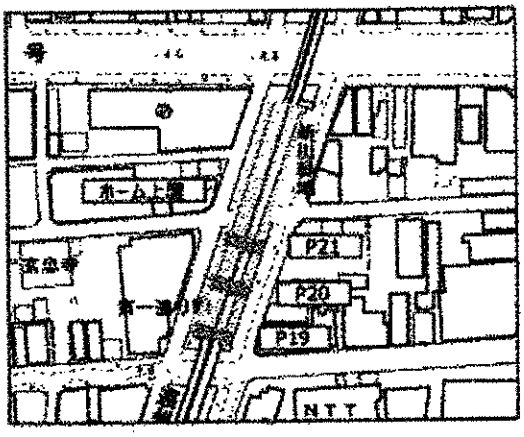
国の所管	国土交通省　鉄道局　施設課　　財務省　　内閣府
市の所管	都市整備部　交通政策課
事項名	遠州鉄道第一通り駅バリアフリー化および鉄道線耐震化の整備への財政支援について
要　旨	**（要望内容）** 事業箇所である遠州鉄道第一通り駅は、高架駅唯一のエレベーター未設置駅です。 市民の利便性、安全性の向上を図り、誰もが利用しやすい鉄道駅の実現に向け、事業主体である遠州鉄道株式会社が実施する「バリアフリー化整備事業」を円滑に実施できるよう、必要な予算を確保するよう要望します。 また、鉄道高架下は鉄道利用者や中心市街地を行き交う市民で賑わう空間であり、南海トラフ巨大地震により橋脚が倒壊した場合には、鉄道本体だけではなく道路、河川や近接する民間建築物に甚大な被害が予想されます。 その中心市街地を行き交う多くの市民などの安全と幹線道路や河川機能を確保するための鉄道高架橋の耐震対策は、都市機能を維持するうえで必須です。 そのため、事業主体である遠州鉄道株式会社が実施する「遠州鉄道鉄道線耐震化整備事業」について、計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算を確保するよう要望します。

遠州鉄道第１通り駅バリアフリー化及び鉄道線耐震化の整備への財政支援

■施工位置図



■拡大図（第一通り駅）



■バリアフリー化（上：現況、下：イメージ図）

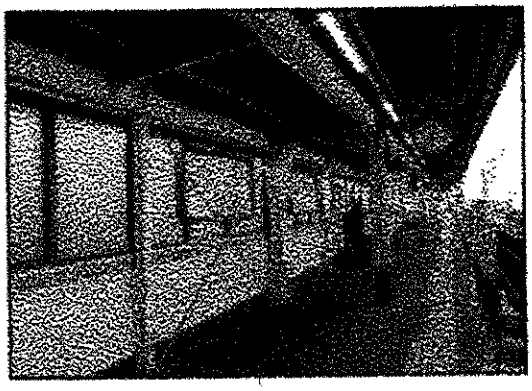


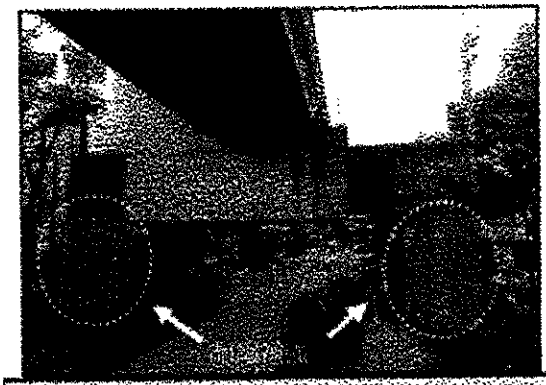


バリアフリー化は、第一通り駅エレベーター及びトイレ設置等が整備対象

バリアフリー化事業費
R6設計費等：約0.4億円
R7工事費等：約4.2億円

■耐震化（上：ホーム上屋、下：P21橋脚）



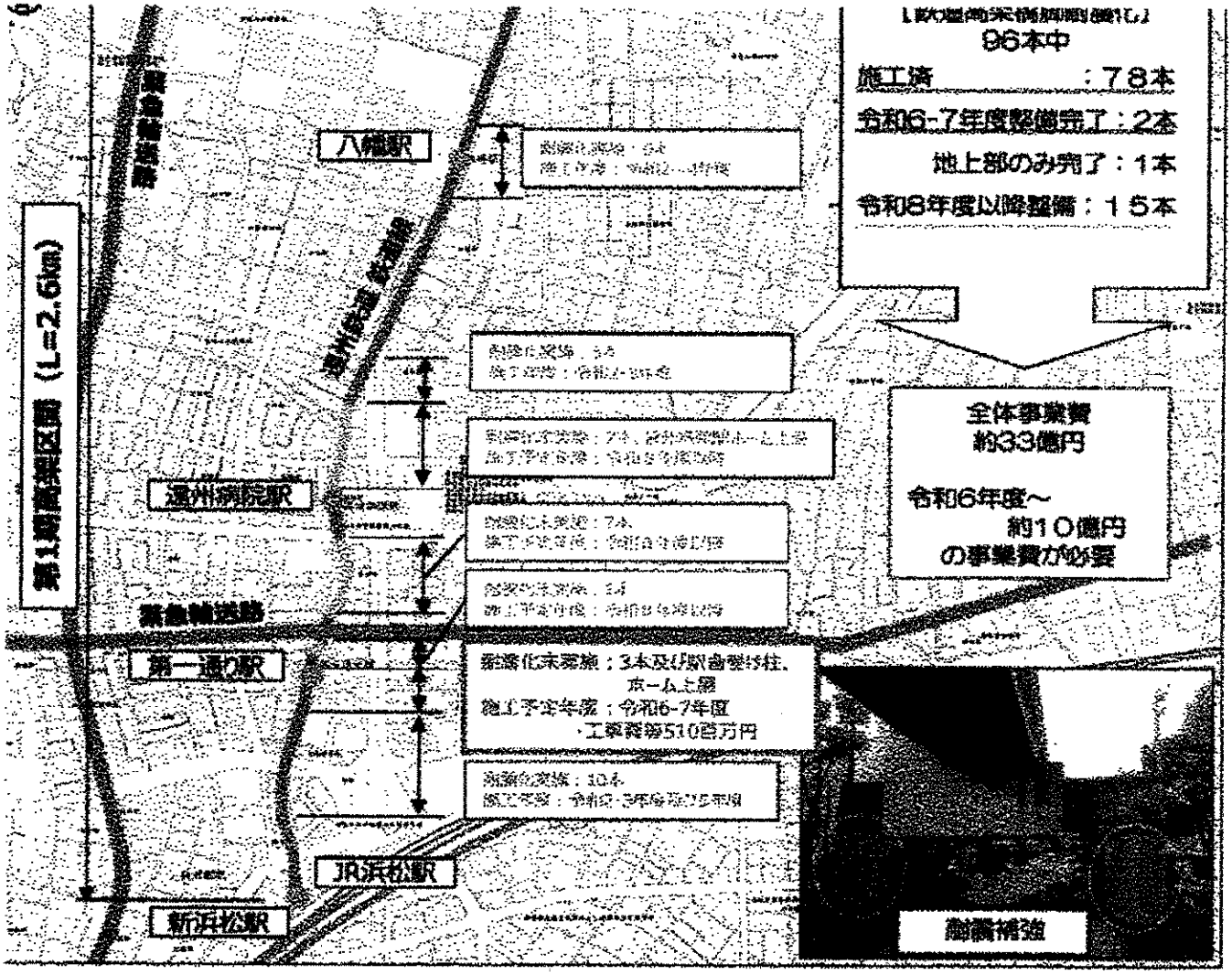


耐震補強は、円型橋脚補強３本、駅舎受け柱及びホーム上屋が整備対象

耐震化事業費
R6工事費等：約3.2億円
R7工事費等：約1.9億円

引き続き予算確保を働きかけたい

遠州鉄道第１通り駅バリアフリー化及び鉄道線耐震化の整備への財政支援



○耐震化状況

- 遠州鉄道鉄道線連続立体交差事業は、第1期高架事業（昭和60年度完成）、第2期高架事業（平成25年度完成）を実施
- 南海トラフ巨大地震に備え、第1期高架区間の耐震化は緊急性を要する
- 96本の橋脚のうち、令和５年度末までに78本完了し、18本の耐震化が未整備
  （施工済：78本、令和6-7年度整備：3本、令和8年度以降整備：15本）

○R7予算要望内容

- バリアフリー化事業費　**約4.2億円**（第一通り駅エレベーター及びUDトイレ設置）
- 耐震化事業費　**約1.9億円**（橋脚３本、駅舎受け柱及びホーム上屋）

引き続き予算確保をお願いしたい

国に対する要望事項

浜松市　NO. 15

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	流域治水への財政支援について
要　旨	**（要望内容）** 本市で実施する「流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューを計画的かつ着実に推進するため、継続的な補助事業等への予算確保を図るよう要望します。 特に市内で大きな浸水被害がたて続けに発生しており、令和4年9月の台風15号では市内一円で警戒レベル5緊急安全確保が発令され、近年最大となる約2千棟の家屋浸水被害となりました。また、令和5年6月には、台風2号に伴う豪雨により、五反田川の越水や、九領川流域などにおいて、浸水被害が発生しました。 激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、一刻も早い河川整備を行えるよう、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」の重点的・集中的な実施に必要な予算の確保を図るよう要望します。 併せて、国土強靭化実施中期計画の策定時期を夏までに示した上で、令和6年内の早期に策定し、5か年加速化対策後も必要な予算を別枠で確保するよう要望します。

流域治水への財政支援

1.「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に実施するための予算確保
2.国土強靭化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保

■令和4年9月 台風15号 等

台風15号では市内一円に警戒レベル5を発令

■令和5年6月 台風2号に伴う豪雨

6月観測史上最大の累積雨量556mmを観測

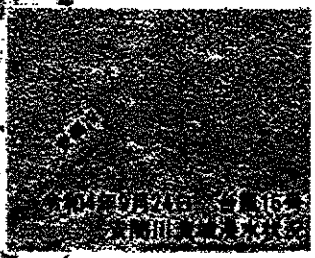


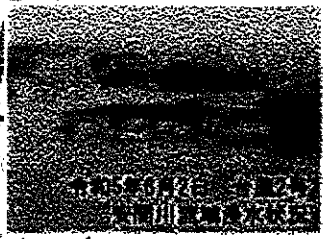














近年、最大の浸水被害となった令和4年台風15号や令和5年台風2号など、激甚化・頻発化する気候変動から命と暮らしを守るため、必要な予算確保及び継続的な予算の確保が必要
・九頭川、高屋川、五反田川、有隣川等の河川改修や校庭貯留整備の推進及び加速化

国に対する要望事項

浜松市　NO. 16

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川の河川事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川の堤防強化や河道掘削、樹木伐採など、必要な予算を確実に確保するとともに更なる河川事業の促進及び加速化を図るよう要望します。 また、河道掘削で発生した土砂は遠州灘海岸侵食抑制のための養浜事業へ活用し、静岡県が継続的に実施している養浜事業に対して助成を図るよう要望します。 さらに、大規模自然災害発生時において自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災した自治体の支援を行う「ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ」の体制・機能の拡充・強化を図るよう要望します。

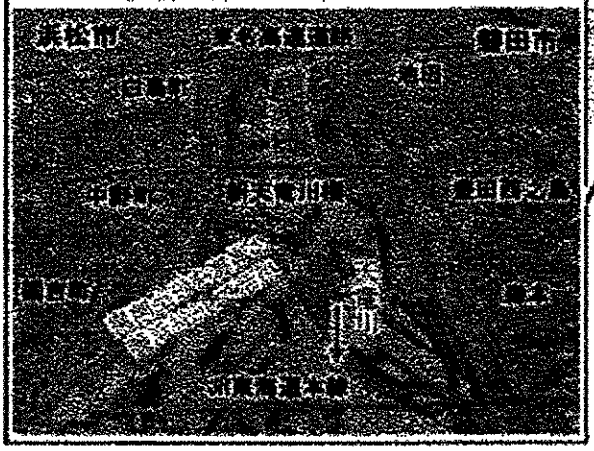
天竜川の河川事業の促進

「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
1．治水事業全体の必要な予算確保
2．堤防強化や河道掘削などの河川事業の促進及び加速化
3．ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥの体制・機能を拡充・強化

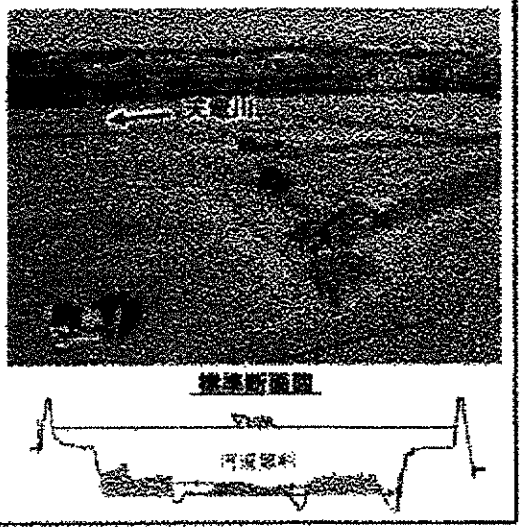
堤防強化（浜名区上島）



河道掘削（中央区中野町）



河道掘削（中央区老間町）



国に対する要望事項

浜松市　NO. 17

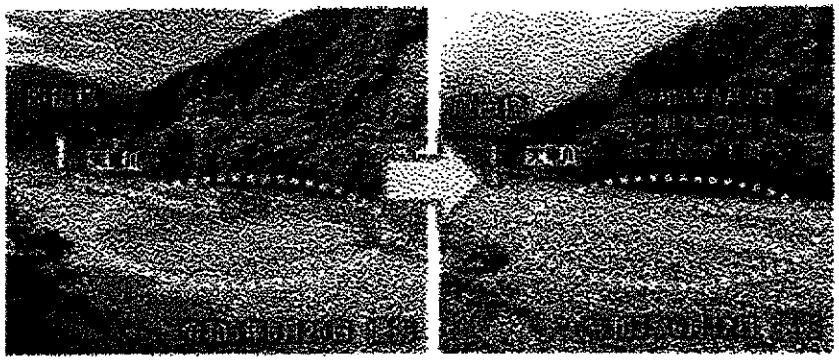
国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川ダム再編事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 佐久間ダムの集水面積は天竜川流域全体の約75%を占めています。これまで利水専用ダムであった佐久間ダムへ新たに洪水調節機能を確保することは天竜川中下流部の治水対策の要です。 また、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性が確保され、遠州灘海岸の侵食抑制にも効果が期待できます。 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川ダム再編事業の促進及び加速化を図るよう要望します。

天竜川ダム再編事業の促進

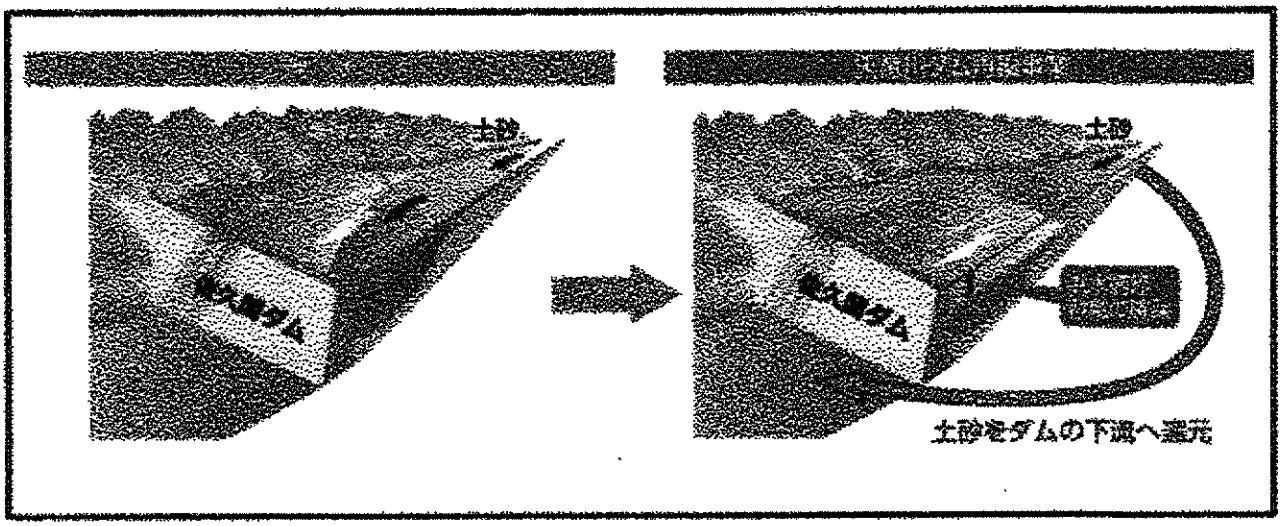
「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
- 佐久間ダムの洪水調節に必要な施設及び恒久的な堆砂対策施設の整備を促進し、早期に洪水調節及び土砂移動の連続性を確保



天竜川ダム再編事業の新事務所

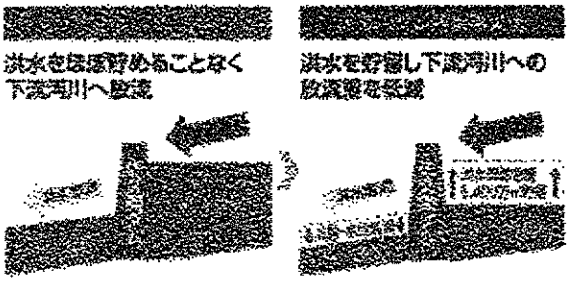


置土による土砂還元等を実施



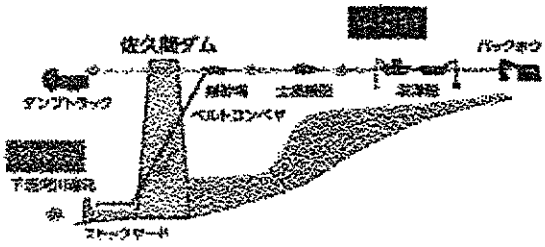
洪水調節

上流域の大雨による洪水をダムへ貯めることにより、下流河川を流れる洪水量を減らして、河川からの溢れや、堤防が壊れることを防ぐ。



恒久的な堆砂対策

平常時にダム発生土をダム下流側のストックヤードに運搬・集積して、洪水時にダム放流水を利用し、河川へ還元することにより、遠州灘海岸の侵食を抑制する。



環境省

令和６年９月９日

令和７年度予算に関わる

要望書

１　「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の周知・啓発の推進について

２　有機フッ素化合物対策の推進について

３　特定外来生物による被害防止のための支援について

浜松市議会 自由民主党浜松

国に対する要望事項

浜松市　NO. 1

国の所管	環境省
市の所管	カーボンニュートラル推進事業本部
事項名	「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の周知・啓発の推進について
要　旨	**（要望内容）** 地球温暖化が進み、気象災害の激甚化が顕著になっています。私たちの子や孫、さらにその先の世代に向けて持続可能な社会を実現するためには、私たちのライフスタイルを変えていく必要があります。 国では、2022年から新しい国民運動「デコ活」を展開していますが、広く国民に認知されているとは言い難い状況であるため、「デコ活」の周知・啓発をより一層積極的に推進することを要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 2

国の所管	環境省
市の所管	環境部　環境保全課
事項名	有機フッ素化合物対策の推進について
要　旨	（要望内容） 有機フッ素化合物は、撥水性と撥油性を併せ持つ特異な性質を有していることから、これまで様々な用途に使われてきました。当該物質は全国の公共用水域や地下水から暫定指針値を超過する事例が散見されており、国民の関心が高まっている状況にあります。 本市においても、公共用水域や地下水の複数地点で超過が確認されていますが、当該物質については、科学的に未解明な部分が多く、人体や環境への影響を懸念する市民も少なくありません。 環境省におかれては、今年度から「PFASに関する総合研究」事業を立ち上げ、研究を開始されたと承知していますが、市民の不安解消のため早急な解明が望まれます。 ついては、市民の不安解消に向け、厚生労働省、農林水産省等関係省庁と連携を図りながら、早急な科学的知見の充実と、科学的根拠に基づく対策の推進を要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 3

国の所管	環境省
市の所管	環境部　環境政策課
事項名	特定外来生物による被害防止のための支援について
要　旨	（要望内容） (1) 令和４年５月に改正された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」では、国の責務として、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止のため、地方公共団体の施策の支援に必要な措置を講ずるものとされました。 国では、地方公共団体の取組に対する財政的支援のため、令和５年度に特定外来生物防除等対策事業に係る交付金制度を設けたが、交付の対象が生態系や人の生命・身体への被害を防ぐための事業とされており、農作物や家屋への被害など、財産の保護を目的とする事業は対象とはなっていません。 本市では、特定外来生物クリハラリス、ヌートリア、アライグマの防除を進めており、クリハラリスについては、本交付金を活用して対策を実施します。しかし、市内で生息が年々拡大しているヌートリア、アライグマについては、被害が農業や生活環境に限定されることから、交付の対象に該当せず、支援を受けられない状況にあります。 ついては、法の趣旨に則り、生態系や人の生命・身体への被害のみならず、農業被害などの防止のためにも交付金を利用できるよう、対象事業の見直しを要望します。 (2) 本交付金を活用し対策を実施している特定外来生物クリハラリスは、春季に活動が活発になり、繁殖を行うため、年間を通して最も捕獲が容易で繁殖を抑制できる春季に対策を行うことが効果的です。しかし、本交付金の交付対象事業は、実施期間が交付決定通知日以降から年度末までとなっており、交付決定が６月末であると効果的な時期の対策に活用することができません。 ついては、年度当初から防除が実施できるよう、制度の見直しを要望します。

内閣官房／内閣府

令和６年９月９日

令和７年度予算に関わる

要　望　書

浜松市議会 自由民主党浜松

内閣官房・内閣府　要望事項

1　拉致被害者および特定失踪者問題の解決に向けて

2　外国人材の受入れ拡大に伴う多文化共生施策の推進について

3　女性相談員の処遇改善について

4　ＤＶ被害者への対応について

5　浜松市の国土強靱化について

6　国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について

7　三遠南信自動車道の整備促進と国道152 号現道改良区間の事業推進について

8　浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について

9　災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について

10　防災・減災、国土強靱化の推進について

11　交通事故のない安全・安心な道づくりの推進について

12　遠州鉄道第一通り駅バリアフリー化および鉄道線耐震化の整備への財政支援について

13　流域治水への財政支援について

14　天竜川の河川事業の促進について

15　天竜川ダム再編事業の促進について

国に対する要望事項

浜松市　NO. 1

国の所管	内閣官房　拉致問題対策本部
市の所管	市民部　市民生活課
事項名	拉致被害者および特定失踪者問題の解決に向けて
要　旨	**（要望内容）** 北朝鮮による拉致問題について、平成14年の日朝首脳会談で日本人拉致被害者5人の帰国が実現してから22年が経過します。岸田政権においても引き続き最重要課題としていますが、今もって進展がみられない状況にあります。 拉致被害者の家族の高齢化も進み、忍耐は限界に達しており、拉致の可能性を排除できない浜松市出身の河嶋功一さんの拉致被害者認定も含め、拉致問題の一刻も早い解決および特定失踪者の真相究明を要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 2

国の所管	内閣官房　　法務省　出入国在留管理庁　　財務省
市の所管	企画調整部　国際課
事項名	外国人材の受入れ拡大に伴う多文化共生施策の推進について
要　旨	（要望内容） （1）在留外国人数は昨年12月末時点で340万人を越え、過去最高を更新しており、定住化や多国籍化も進展しています。国では深刻化する人手不足への対応として外国人材の受入れを一層加速させており、昨年6月には特定技能2号の対象分野追加、本年3月には特定技能の受入れ見込数の再設定及び対象分野等の追加が閣議決定されました。また、6月には技能実習制度に代わる「育成就労制度」を創設する関連法案が国会で可決・成立し、令和9年度までに施行される見通しです。 政府全体では共生社会の実現を目指すため、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」の改訂等により取組の充実が図られ、中長期的に目指すべき「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」が策定されています。しかしながら、その基盤となる共生の概念をはじめ、国・地方自治体・事業者等の役割分担、推進体制が明示された体系的・総合的な基本法が存在していません。 こうした状況を踏まえ、教育や社会保障など、外国人材が地域社会の構成員として公正に社会参画できるようにするため、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策やロードマップに示された施策の実施をより確実に進めていくための基盤となる基本法の制定を要望します。 （2）外国人の地域社会への受入れにあたって増大する共生施策に必要な事業費に要する財政支援策として補助金や交付金などが創設されてはいますが、上限額の設定や交付期間の制限、予算不足などにより施策の着実な実施に相応の負担が生じています。 こうしたことから、地方自治体が担う多文化共生社会実現に向けた施策に必要な活用自由度が高い恒常的かつ十分な財政措置を講ずることを要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 3

国の所管	内閣府　男女共同参画局
市の所管	市民部　UD・男女共同参画課
事項名	女性相談員の処遇改善について
要　旨	**（要望内容）** 　雇用等における男女共同参画の推進に向け、国では男女の賃金格差や非正規雇用労働者への待遇改善に取り組んでおります。しかしながら、現実としては全国の女性センターなどで相談業務にあたる相談員には、法律等も含めた幅広い専門性や資格が求められていますが、契約が単年度契約の場合が多く、雇用の不安定さを抱えています。 　そうした状況の中で、相談員は相談事業の遂行に尽力しています。このままでは今後、能力のある若い人材の雇用にも困難をきたすといわれています。 　つきましては、需要の増加が予想される相談事業の充実のためにも、相談員の待遇改善を要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 4

国の所管	内閣府　男女共同参画局
市の所管	市民部　UD・男女共同参画課
事項名	ＤＶ被害者への対応について
要　旨	**（要望内容）** 新型コロナウィルス感染症拡大を機に顕在化されたＤＶ被害は、複雑化、複合化しています。 ＤＶ被害者は加害者の監視下にあるため、被害者が容易に相談しにくい状況が推察されます。 つきましては、これまで以上の相談体制の充実や児童虐待への影響を注視するなど、適切な対応を要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 5

国の所管	内閣府　　国土交通省　　財務省
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	浜松市の国土強靭化について
要　旨	**（要望内容）** 防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策の最終年度となる令和７年度においても、必要な予算・財源を確保するとともに、令和６年能登半島地震などを踏まえ、国土強靭化実施中期計画を令和６年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保するよう要望します。 また、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、地域が必要とする事業の実施や維持管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和７年度当初予算の所要額を満額確保するよう要望します。

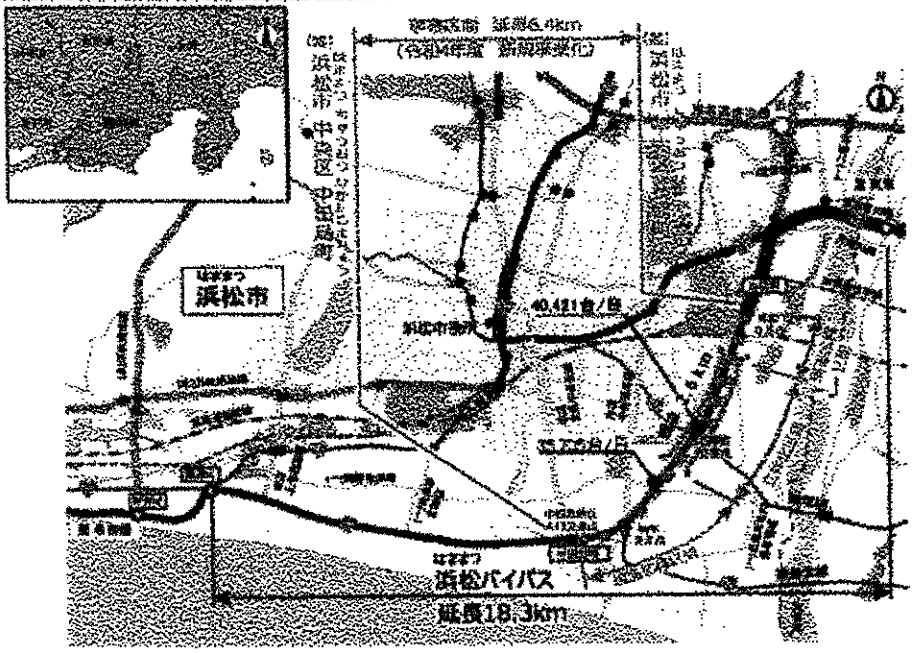
国に対する要望事項

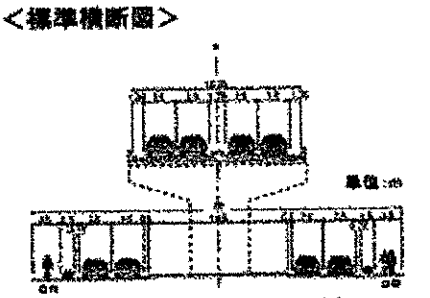
浜松市　NO. 6

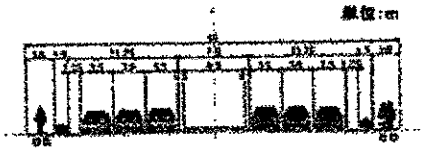
国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について
要　旨	（要望内容） 国道１号浜松バイパスは、東西の地域を連絡するとともに浜松市の環状機能を担う重要な道路です。 令和４年度に新規事業化された国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）では、立体化や現道拡幅が計画されており、速達性向上による産業活性化支援や渋滞緩和による地域交通の円滑化、交通事故の削減など、大きな整備効果が期待されます。 また、令和４年度に引き続き、昨年度も地質調査や設計が進められており、早期工事着手に向けた地元の期待が高まっています。 本事業が円滑かつ迅速に進められるよう、地域一丸となって協力して参りますので、事業の推進を図るよう要望します。

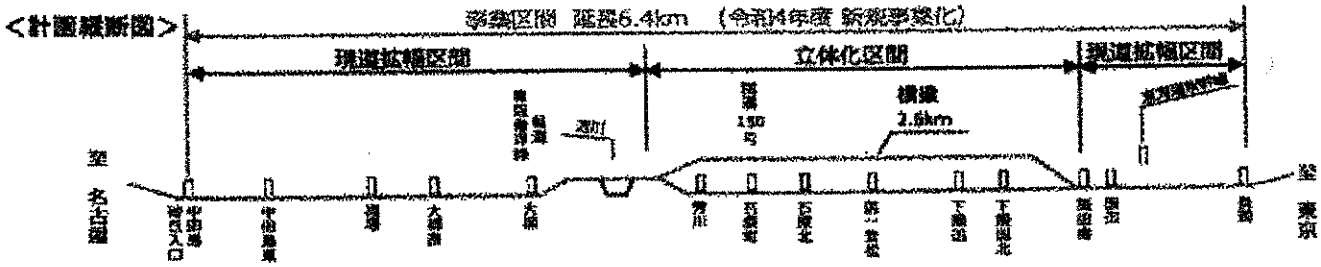
国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進

１．国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進

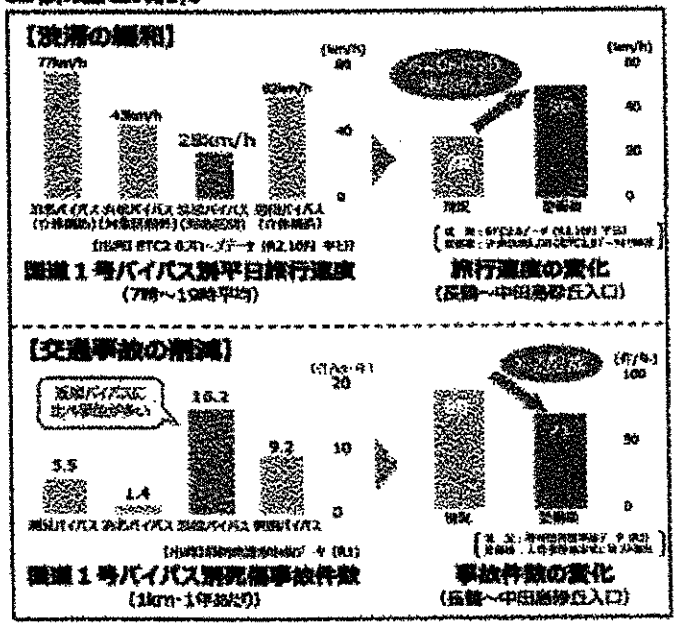








■課題と効果



■進捗状況



国に対する要望事項

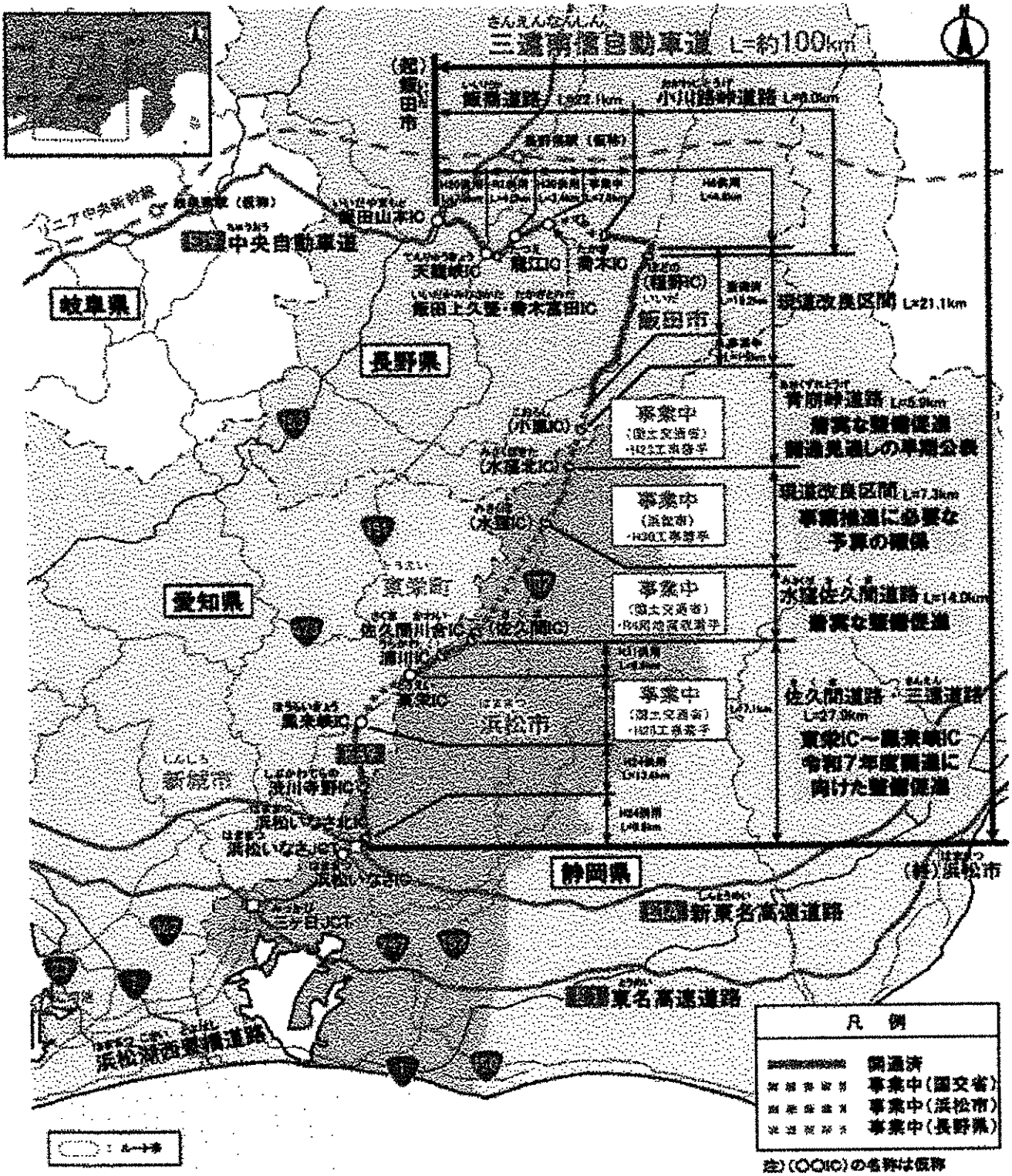
浜松市　NO. 7

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	三遠南信自動車道の整備促進と国道 152 号現道改良区間の事業推進について
要　旨	**（要望内容）** 三遠南信自動車道は、三遠南信地域を結ぶ地域連携の基軸であり、広域交流や物流の活性化、災害時の“命の道”として、信頼性・安定性の高い道路ネットワークを構築する重要な道路です。 現在、佐久間道路・三遠道路の東栄ＩＣ～鳳来峡ＩＣ間では、令和７年度の開通に向け工事が推進され、水窪佐久間道路では、本年度も引き続き用地買収が進められています。 さらに、静岡・長野県を結び、難所である青崩峠道路では、令和６年５月に、青崩峠トンネル（仮称）が貫通し、現在は覆工コンクリートの施工が進められるなど、全線開通に向けた地元の期待が高まっています。 引き続き、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」の予算を確保し、三遠南信自動車道の整備促進を図るとともに、浜松市における国道 152 号現道改良区間の事業が計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算を確保するよう要望します。 また、青崩峠道路については、開通見通しを早期に示すよう要望します。

三遠南信自動車道の整備促進と 国道１５２号現道改良区間の事業推進

1．「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」による
三遠南信自動車道の整備促進

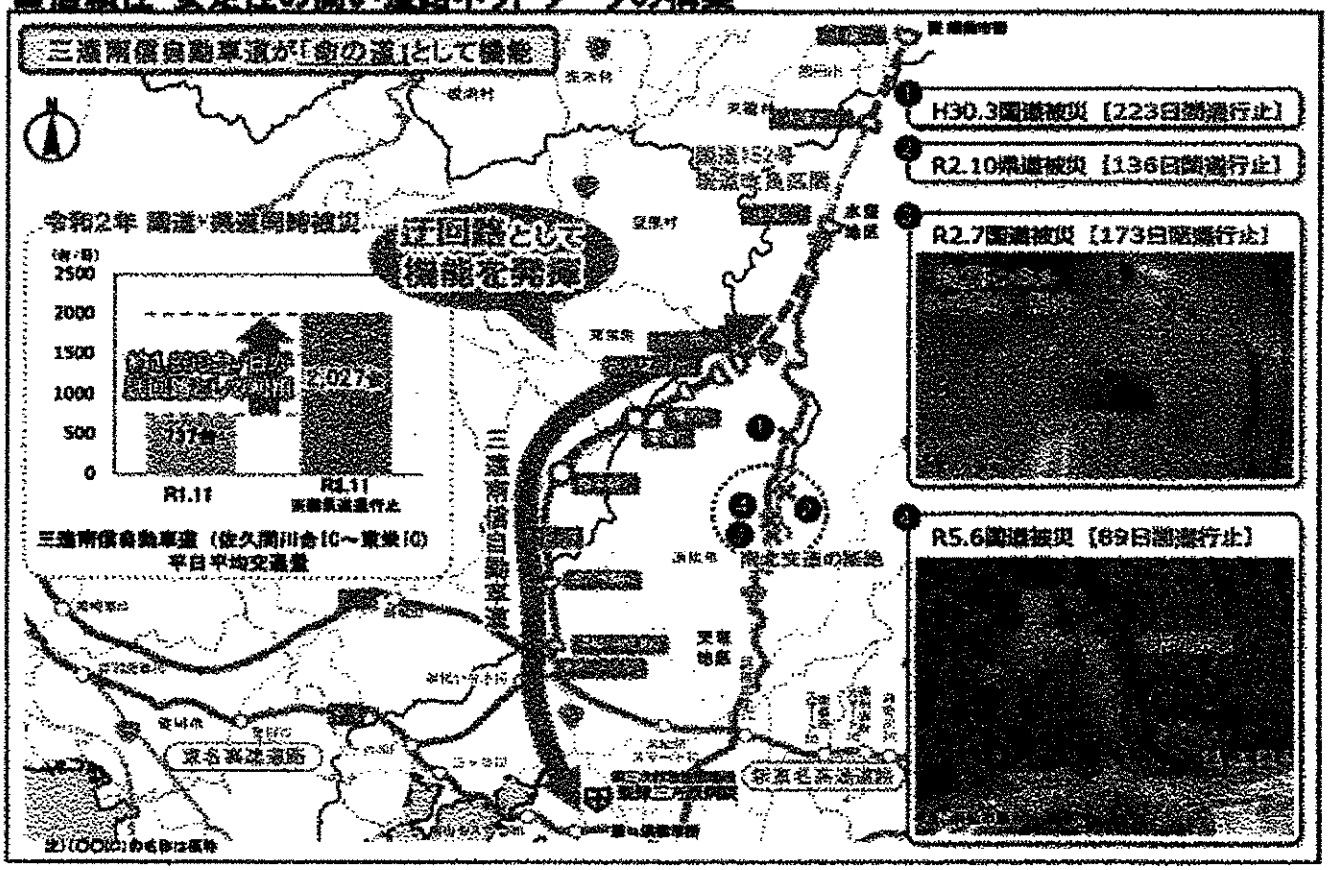
2．国道152号現道改良区間の事業推進に対する予算確保



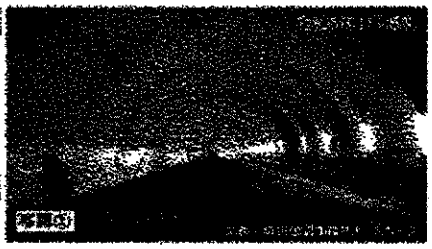
三遠南信自動車道の整備促進と国道１５２号現道改良区間の事業推進

1．「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」による三遠南信自動車道の整備促進
2．国道152号現道改良区間の事業推進に対する予算確保

信頼性・安定性の高い道路ネットワークの構築



三遠南信自動車道



青崩峠道路
・令和5年5月26日に青崩峠トンネルが貫通 写真①
※トンネル名は仮称

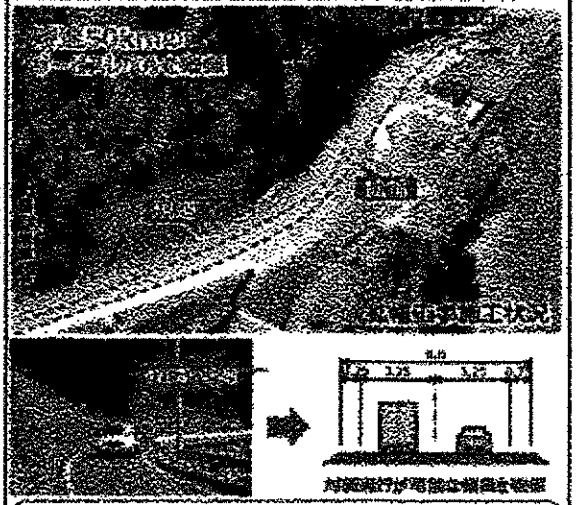


水窪佐久間道路
・昨年度までに引き続き、本年度も用地買収を推進

佐久間道路・三遠道路
・令和７年度の開通に向け工事を推進 写真②

工事の推進及び早期供用
青崩峠道路の開通見通しの早期公表

国道152号現道改良区間



三遠南信自動車道と一体として計画的かつ確実に進めるために必要な予算の確保

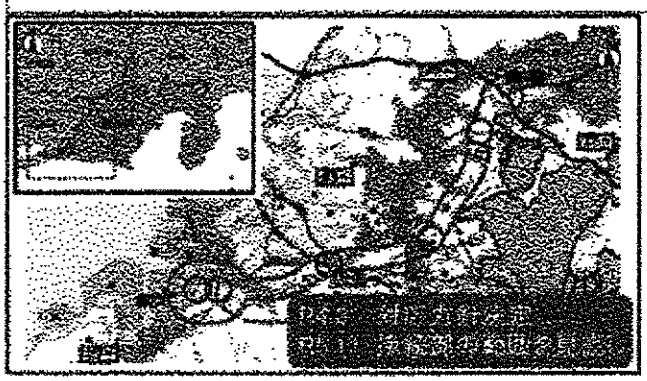
国に対する要望事項

浜松市　NO. 8

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について
要　旨	**（要望内容）** 浜松湖西豊橋道路は、三遠南信自動車道と一体となり、東名・新東名高速道路等といった東西交通の大動脈を、南北につなぐ道路ネットワークを形成し、物流の効率化、広域防災、観光エリア間の連絡性・速達性向上に資する重要な道路です。 静岡県、愛知県及び浜松市が行う環境影響評価及び都市計画の手続きを進められるよう協力するとともに、早期に事業着手するよう要望します。

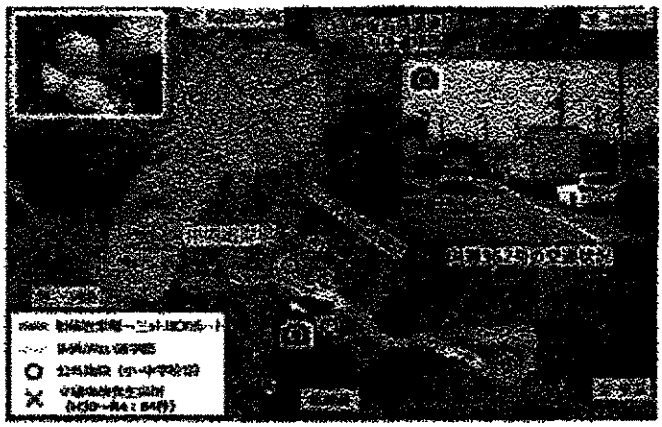
浜松湖西豊橋道路の早期事業着手

1．浜松湖西豊橋道路の早期事業着手

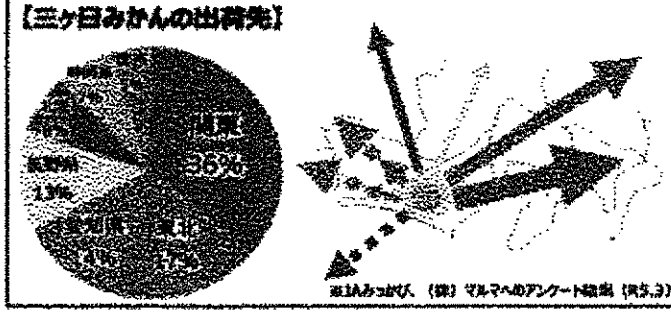


■三ヶ日みかんの出荷拡大・安全性の向上

【三ヶ日みかんの出荷ルート】



【三ヶ日みかんの出荷先】

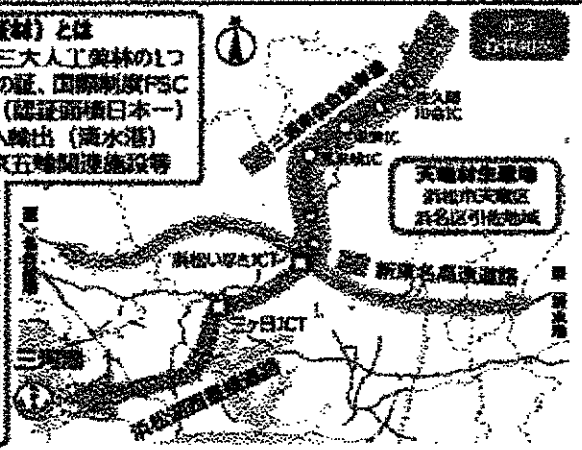


【期待される効果】
・浜松湖西豊橋道路の整備により、愛知県内・関西方面への出荷拡大や、三河港から東南アジアへの輸出に期待
・三ヶ日中心地を通る大型車の削減が期待

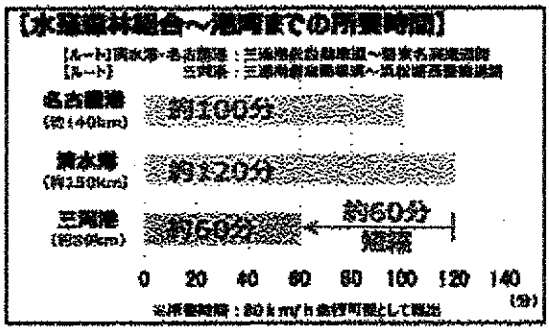
■速達性の向上 ～「天竜材（FSC認証材）」の海外競争力強化～

天竜材（FSC認証材）とは
・天竜地域は日本三大人工美林のひとつ
・適切な森林管理の証、国際制度FSC森林認証を取得（認証面積日本一）
・台湾・ベトナム等へ輸出（清水港）
※使用実績：東京五輪関連施設等





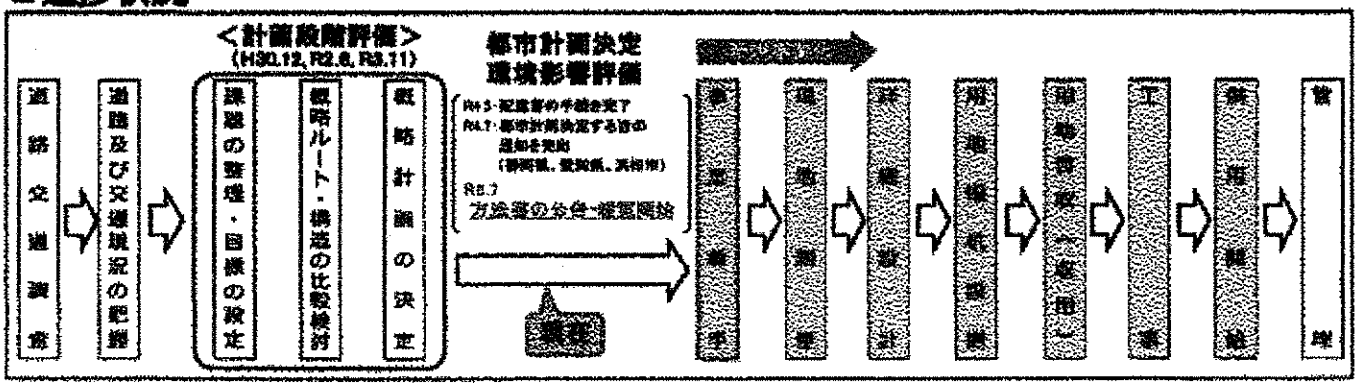
【水窪森林組合～港湾までの所要時間】



※所要時間：80km/h走行可能として算出

【期待される効果】
・天竜材の生産地から、三河港へのアクセス性が向上
・大幅な輸送コストの削減が期待

■進捗状況



国に対する要望事項

浜松市　NO. 9

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課・道路保全課
事項名	災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について
要　旨	**（要望内容）** 浜松市が事業を推進する主要地方道天竜浜松線及び主要地方道浜松環状線は、一般広域道路「浜松環状道路」の一部を形成し、東名高速道路と新東名高速道路、災害時の広域物資輸送拠点等を連絡する重要な道路です。 発生が予想される南海トラフ巨大地震や激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守る、災害に強い道路ネットワーク機能を強化するため、国土強靭化に資する緊急輸送道路等の整備に必要な予算の確保を要望します。 併せて、国土強靭化実施中期計画を、令和６年内の早期に策定し、５か年加速化対策後も必要な予算を別枠で確保するよう要望します。

災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進

1．災害に強い道路ネットワーク機能の強化に必要な予算の確保
2．国土強靭化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保



切迫する大規模地震や激甚化・頻発化する気象災害から
命と暮らしを守る災害に強い道路ネットワーク機能を強化

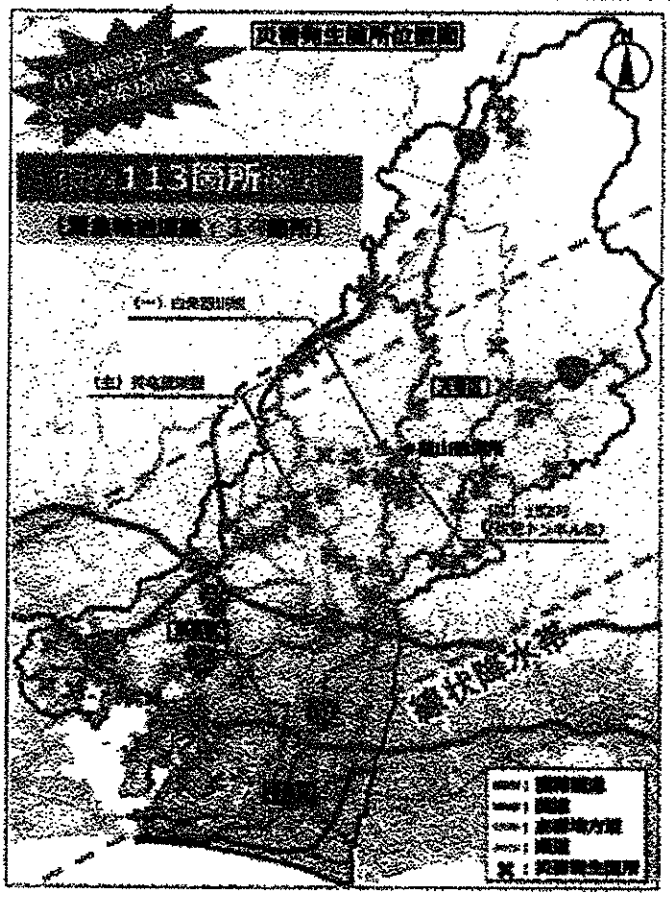
国に対する要望事項

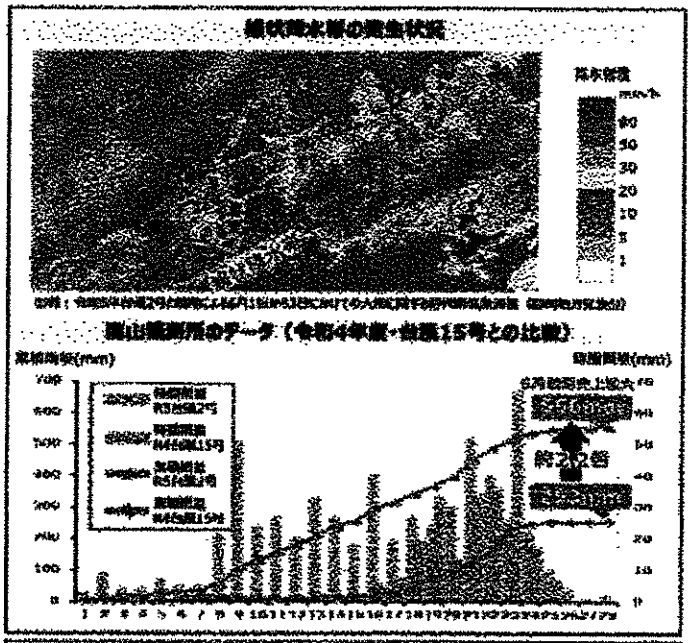
浜松市　NO. 10

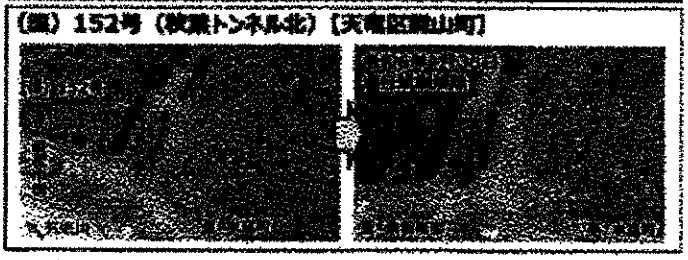
国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課・道路保全課
事項名	防災・減災、国土強靭化の推進について
要　旨	**（要望内容）** 浜松市では「浜松市国土強靭化地域計画」に基づき防災・減災、国土強靭化事業を推進しているなか、市内54箇所が被災した令和4年9月の台風15号に続き、令和5年6月の台風2号に伴う豪雨では、6月観測史上最大となる累積雨量により、土砂崩れや路肩崩壊など100箇所を超える被害が発生したことから、市民生活に甚大な影響をもたらしました。 近年の気候変動の影響による自然災害の激甚化・頻発化に加え、能登半島地震において発生した斜面崩壊や孤立等は浜松市の中山間地域においても同様の被害が懸念されるため、道路斜面対策は喫緊の課題となっており、更なる推進が必要です。 橋梁耐震化対策については、緊急輸送道路に加えて災害対応拠点等までのラストワンマイルを含んだ道路ネットワークの強靭化を目指し、これらネットワーク上の全ての橋梁を対象とした橋梁耐震化の確実な推進が必要です。 また、橋梁の老朽化対策については、1巡目点検結果による事後保全の修繕が令和5年度内に措置完了し、2巡目点検結果においても早期完了を目指し、継続的な予算確保が必要です。加えて、健全性Ⅱが増加していることや、架橋後50年を超過する橋梁は劣化速度が速いため、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型のインフラメンテナンスへの本格転換」が重要です。 以上のことから、道路斜面対策、橋梁耐震化対策及び老朽化対策を強力に推進するために、計画的・継続的な予算の確保を要望します。 併せて、国土強靭化実施中期計画を、令和6年内の早期に策定し、5か年加速化対策後も必要な予算を別枠で確保するよう要望します。

防災・減災、国土強靱化の推進

＜令和5年6月2日・台風2号に伴う豪雨による被害状況＞







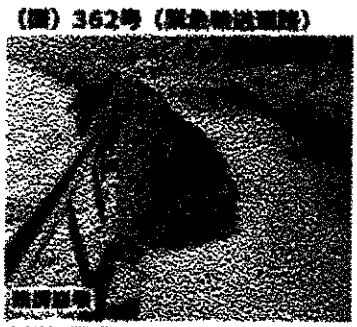


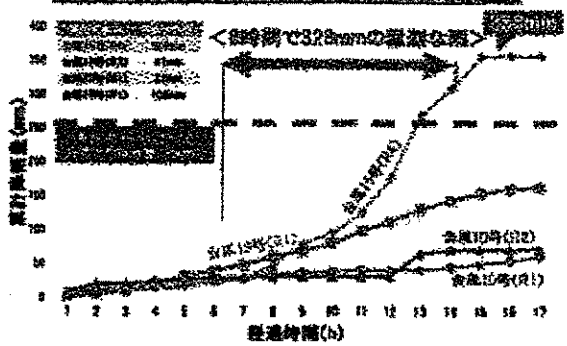


＜令和4年9月・台風15号による被災状況＞

54箇所





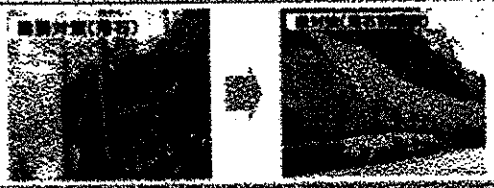


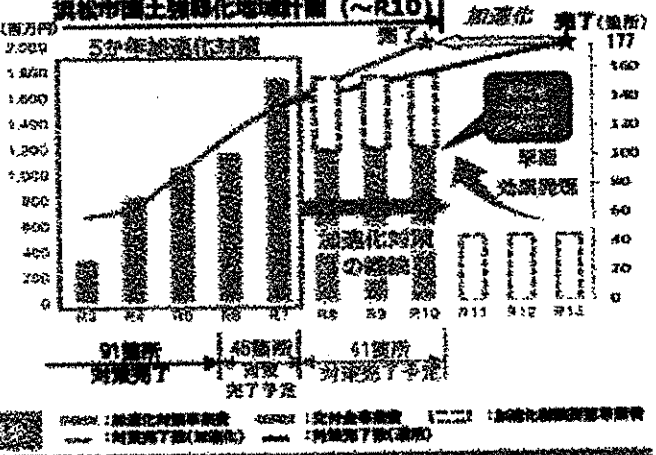
防災・減災、国土強靱化の推進

1．「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」の予算確保について
◎道路斜面対策事業の加速化に必要な予算確保
◎橋梁耐震化の加速化を図るための計画的な財源確保

＜道路斜面対策＞

道路斜面対策 177箇所
対策済：91箇所（51%）（R5年度末）
未対策：86箇所（早期対策が必要）
対策費用 約58億円必要
※今後の点検により対策が必要な箇所が増える可能性あり

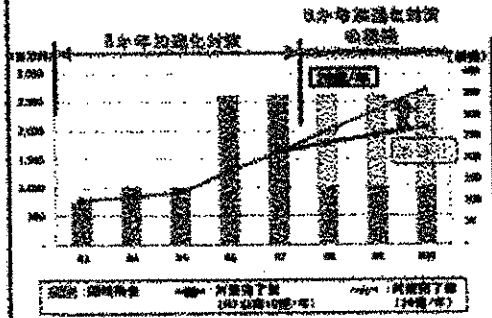




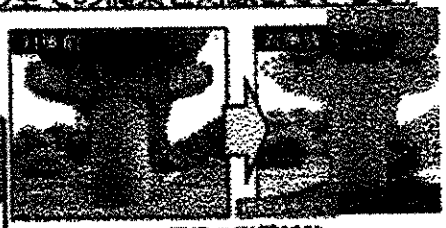
災害の激甚化・頻発化を踏まえ、国土強靱化に資する道路斜面対策は喫緊の課題であり、事業の加速化には継続的な予算確保が必要

＜橋梁耐震化対策＞

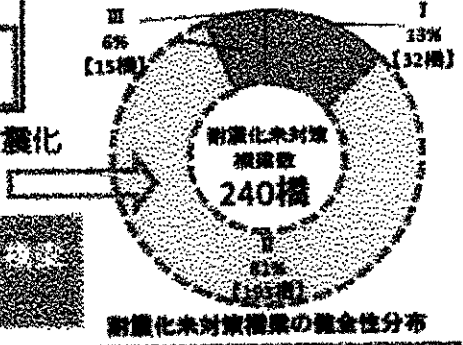
浜松市では緊急輸送道路に加えて災害対応拠点等までのラストワンマイルを含んだネットワークの強靱化を目指し、これらネットワーク上の全ての橋梁を対象とし、361橋の耐震化を推進（R10年度対策完了予定）。



橋梁耐震対策箇所
361橋
対策済：121橋（34%）
（R5年度末）
未対策：240橋
対策費用
約130億円必要



橋梁の耐震補強
（橋脚巻き立て・落橋防止システム）



耐震化未対策橋梁の耐震性分布

橋梁修繕の着実な措置が進められていることから、耐震化未対策の240橋のうち、約80%が健全性Ⅱの状況。

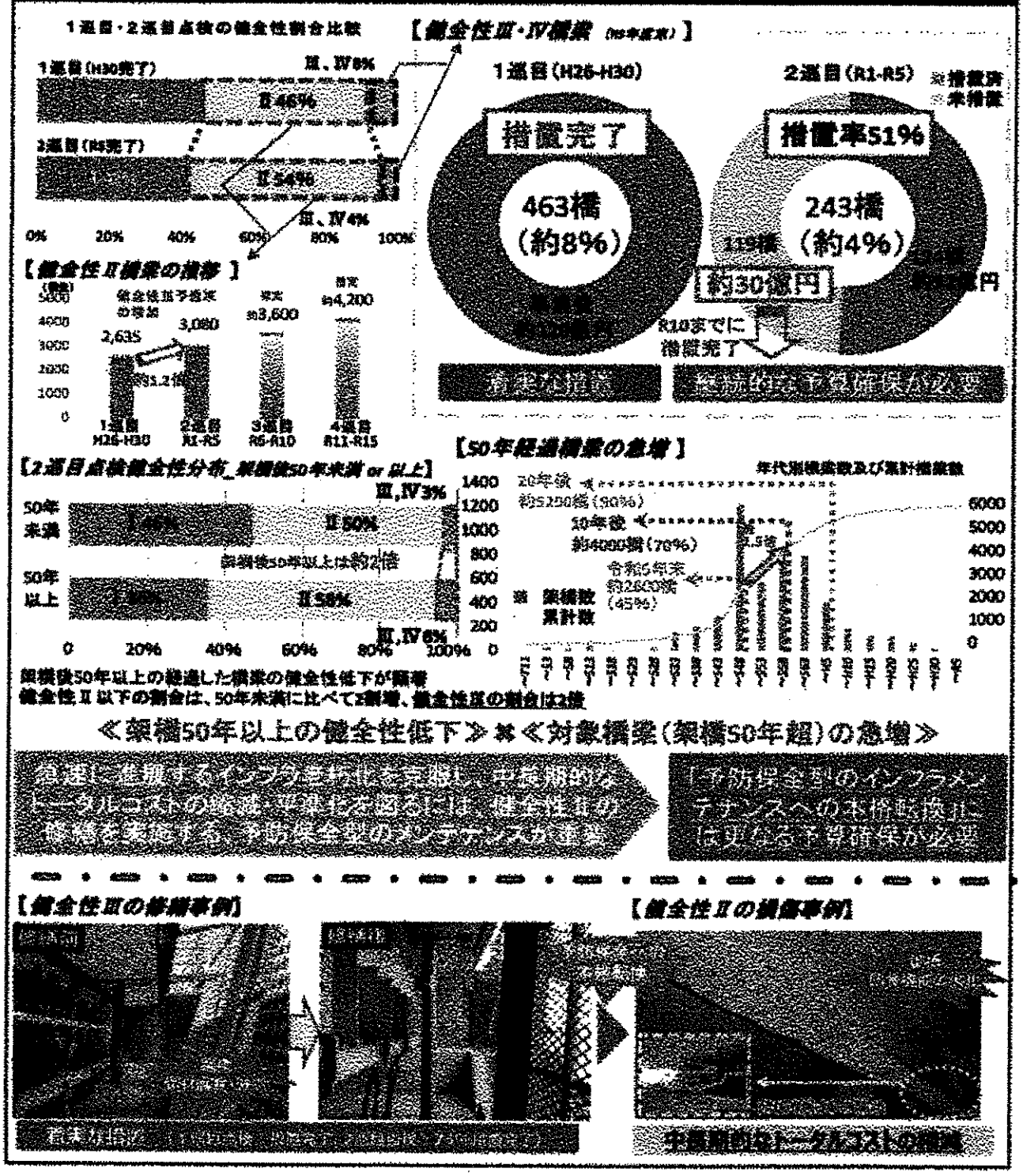
橋梁の修繕と耐震化を合わせて実施することにより、橋梁の健全性を効率的に向上させることが重要

「救援する強靱道路」とするには、予防保全型維持管理への本格転換とあわせた橋梁耐震化の確実な推進を図るための計画的な財源確保が必要

防災・減災、国土強靭化の推進

2．◎事後保全の予算確保の継続及び、予防保全型メンテナンスへの本格転換に必要な予算確保

＜道路インフラ老朽化対策（橋梁）＞



架橋後50年以上の経過した橋梁の健全性低下が顕著
健全性Ⅱ以下の割合は、50年未満に比べて2倍増、健全性Ⅲの割合は2倍

≪架橋50年以上の健全性低下≫※≪対象橋梁（架橋50年超）の急増≫

急速に進展するインフラ老朽化を踏まえ、中長期的なトータルコストの縮減・平準化を図るには、健全性Ⅲの段階で実施する予防保全型のメンテナンスが重要

「予防保全型のインフラメンテナンスへの本格転換」には更なる予算確保が必要

【健全性Ⅲの修繕事例】

【健全性Ⅱの損傷事例】

国に対する要望事項

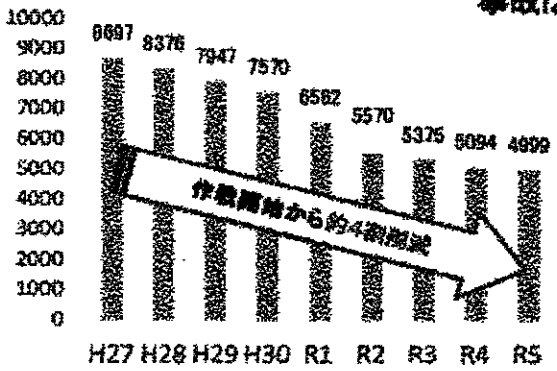
浜松市　NO. 11

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	交通事故のない安全・安心な道づくりの推進について
要　旨	**（要望内容）** 浜松市は、浜松市交通事故防止対策会議にて、平成27年度から「ワースト1※脱出作戦」をスタートさせ、ソフト・ハード両面から交通安全対策を推進してきました。 この結果、令和5年末までに、年間の人身交通事故件数は約4割減の4,999件まで削減されましたが、依然として、ワースト1脱出には至っていません。 浜松市が取組んでいるAIを活用した危険予測では、公開した危険予測箇所マップの閲覧が、令和5年9月の公開から半年間で22万回を超え、交通安全への市民の関心の高さが伺えました。また、昨年度は、浜松市初となるスムーズ横断歩道が設置され、新たに2地区においてゾーン30プラスが設定されるなど、地域や関係機関と連携したハード・ソフト両面からの取組が着実に推進されているところでありますが、ワースト1脱出には、さらなる事故削減の加速化が必要です。 このため、国指定の事故危険箇所対策への支援を重点化するとともに、通学路等の生活道路対策を継続的に支援するよう要望します。 ※ 政令指定都市における人口10万人当たりの人身交通事故件数

交通事故のない安全・安心な道づくりの推進

1．幹線道路等の事故危険箇所対策への支援の重点化、生活道路対策への継続支援

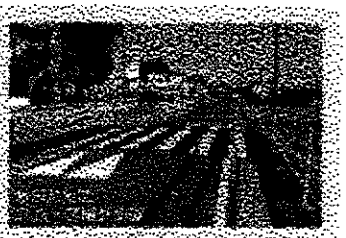
（件）《人身交通事故件数の推移》



ワースト1脱出作戦により、ソフト・ハード両面から対策を推進
事故は削減されているが、ワースト1脱出には至っていない

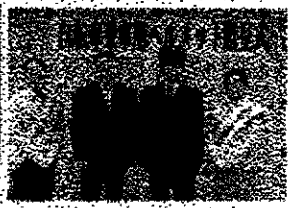


幹線道路対策
（中央分離帯開口部閉鎖）



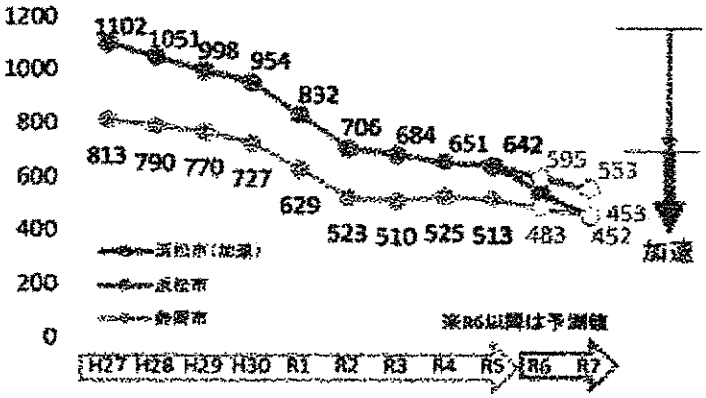
生活道路対策
（ゾーン30プラスの設定）





周知・啓発活動
（年代に応じた交通安全教室など）

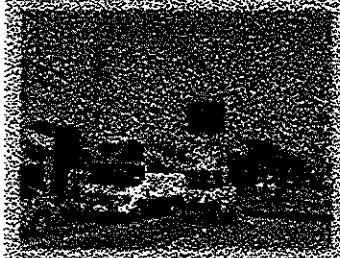
《人口10万人当りの事故件数推移予測》
（ワースト２との比較）



AIによるデータ分析
（事故危険度の高い箇所の抽出）

- 危険予測箇所マップの公開
- 優先的なハード対策の実施

個箇所の事故危険箇所対策への実施の重点化



事故件数（H26～R5）
- 死傷事故交差点　21件
- 死傷事故単路　　43件

交差点部のみで
年間7件程度の事故が発生

- R3指定の事故危険箇所
81箇所について、これまでの
完了を目指し対策を進めて
いるが、大幅な交通
流動等の想定外な予算増減が
課題となっている。

R3指定箇所の状況

通学路等の生活道路対策への継続支援

- R3緊急合同点検に基づく対策箇所について、道路管理者分 54箇所全ての対策を完了（R5.5末）
暫定対策となっている２箇所について、引き続き個別補助事業により対策を推進（R8完了予定）

- 「通学路交通安全プログラム」に基づく要望箇所について、交付金等を活用し対策事業を実施
（R5通学路要望受付：130件／道路管理者分93件）

【学校からの声】
- ラバーポールの設置により、子供の歩行空間が確保された。
- 歩行者にも、運転手にも交通安全の意識づけになった。



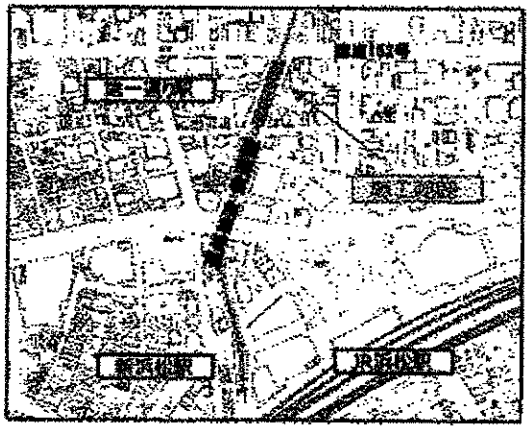
国に対する要望事項

浜松市　NO. 12

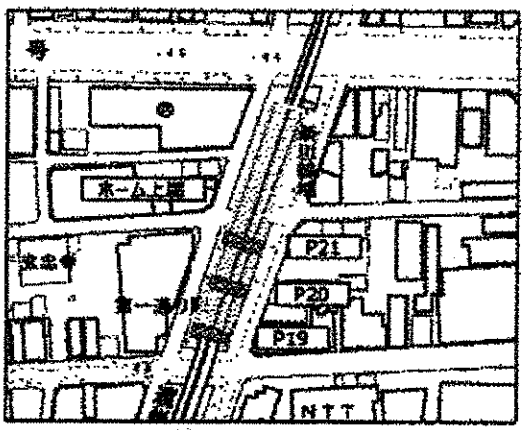
国の所管	国土交通省　鉄道局　施設課　　財務省　　内閣府
市の所管	都市整備部　交通政策課
事項名	遠州鉄道第一通り駅バリアフリー化および鉄道線耐震化の整備への財政支援について
要　旨	**（要望内容）** 事業箇所である遠州鉄道第一通り駅は、高架駅唯一のエレベーター未設置駅です。 市民の利便性、安全性の向上を図り、誰もが利用しやすい鉄道駅の実現に向け、事業主体である遠州鉄道株式会社が実施する「バリアフリー化整備事業」を円滑に実施できるよう、必要な予算を確保するよう要望します。 また、鉄道高架下は鉄道利用者や中心市街地を行き交う市民で賑わう空間であり、南海トラフ巨大地震により橋脚が倒壊した場合には、鉄道本体だけではなく道路、河川や近接する民間建築物に甚大な被害が予想されます。 その中心市街地を行き交う多くの市民などの安全と幹線道路や河川機能を確保するための鉄道高架橋の耐震対策は、都市機能を維持するうえで必須です。 そのため、事業主体である遠州鉄道株式会社が実施する「遠州鉄道鉄道線耐震化整備事業」について、計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算を確保するよう要望します。

遠州鉄道第１通り駅バリアフリー化及び鉄道線耐震化の整備への財政支援

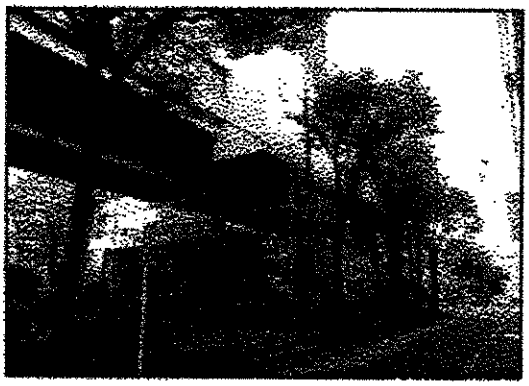
■施工位置図

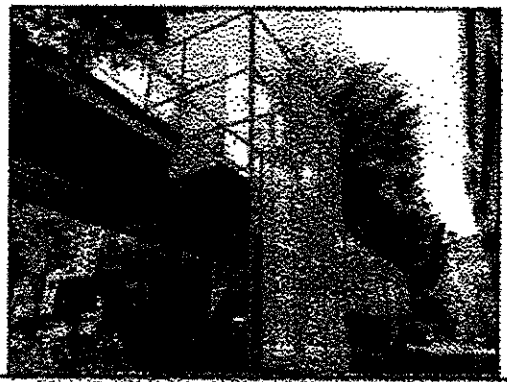


■拡大図（第一通り駅）



■バリアフリー化（上：現況、下：イメージ図）

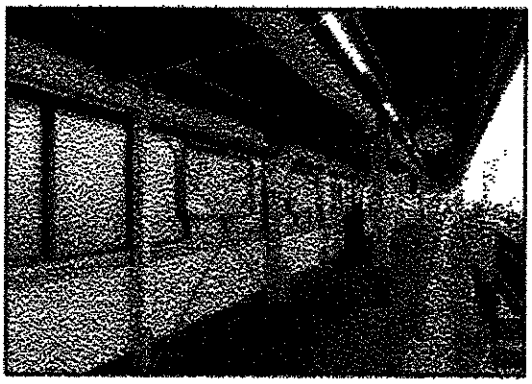


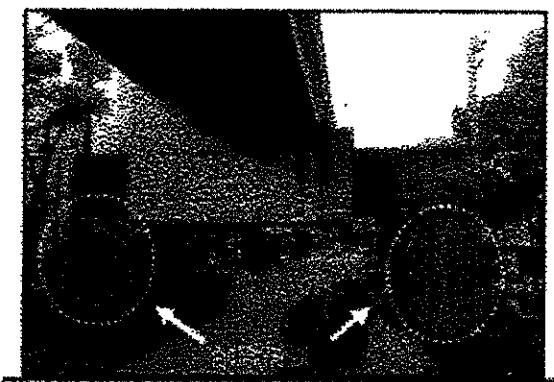


バリアフリー化は、第一通り駅エレベーター及び身障者トイレ設置等が整備対象

バリアフリー化事業費
R6設計費等：約0.4億円
R7工事費等：約4.2億円

■耐震化（上：ホーム上屋、下：P21橋脚）



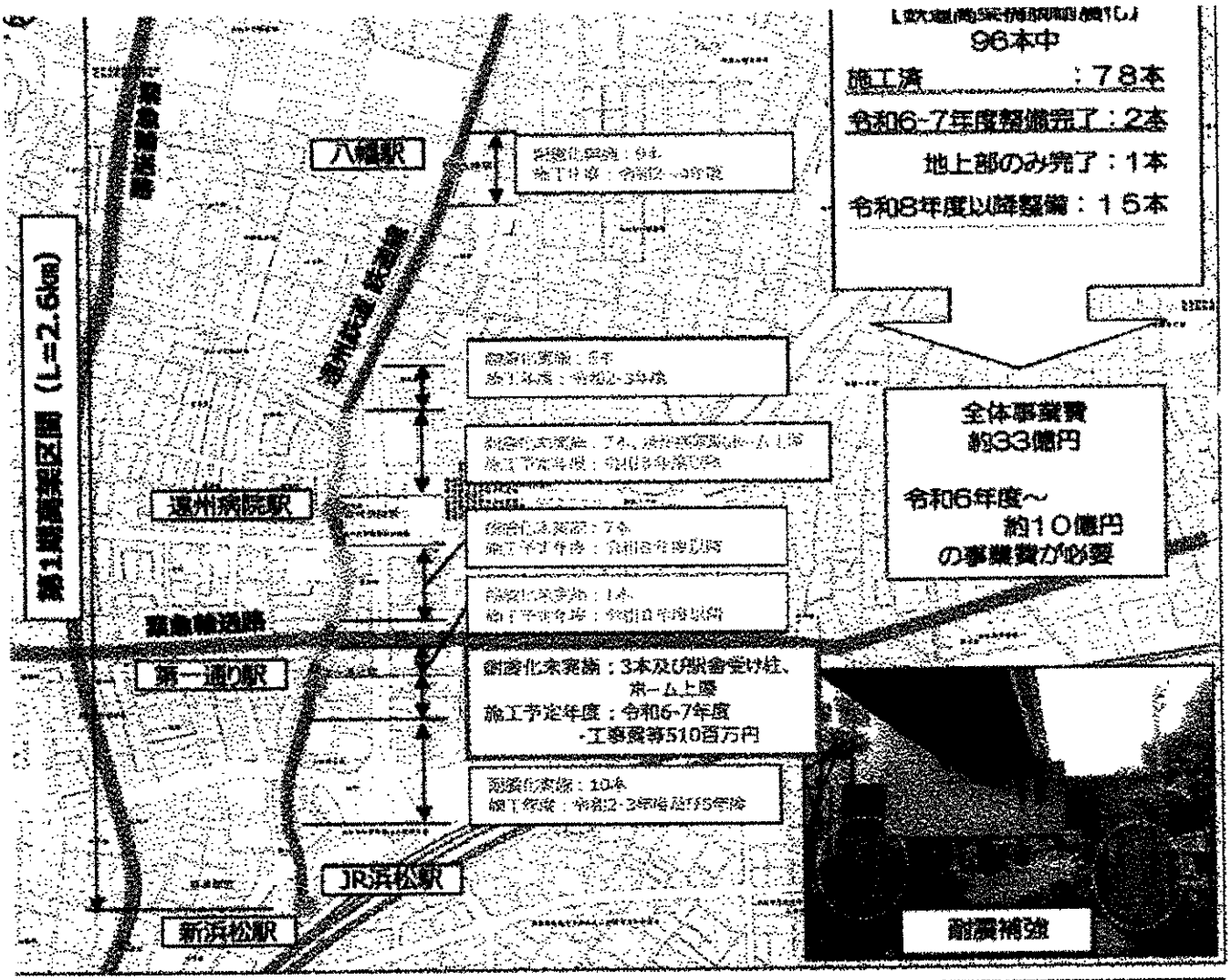


耐震補強は、門型橋脚補強3本、落下受け桁及びホーム上屋が整備対象

耐震化事業費
R6工事費等：約3.2億円
R7工事費等：約1.9億円

国に予算措置を求めていく

遠州鉄道第１通り駅バリアフリー化及び鉄道線耐震化の整備への財政支援



○耐震化状況

- 遠州鉄道鉄道線連続立体交差事業は、第1期高架事業（昭和60年度完成）、第2期高架事業（平成25年度完成）を実施
- 南海トラフ巨大地震に備え、第1期高架区間の耐震化は緊急性を要する
- 96本の橋脚のうち、令和５年度末までに78本完了し、18本の耐震化が未整備
  （施工済：78本、令和6-7年度整備：3本、令和8年度以降整備：15本）

○R7予算要望内容

- バリアフリー化事業費　**約4.2億円**（第一通り駅エレベーター及びUDトイレ設置）
- 耐震化事業費　**約1.9億円**（橋脚３本、駅舎受け柱及びホーム上屋）

引き続き予算確保をお願いしたい

国に対する要望事項

浜松市　NO. 13

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	流域治水への財政支援について
要　旨	（要望内容） 本市で実施する「流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューを計画的かつ着実に推進するため、継続的な補助事業等への予算確保を図るよう要望します。 特に市内で大きな浸水被害がたて続けに発生しており、令和4年9月の台風15号では市内一円で警戒レベル5緊急安全確保が発令され、近年最大となる約2千棟の家屋浸水被害となりました。また、令和5年6月には、台風2号に伴う豪雨により、五反田川の越水や、九領川流域などにおいて、浸水被害が発生しました。 激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、一刻も早い河川整備を行えるよう、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」の重点的・集中的な実施に必要な予算の確保を図るよう要望します。 併せて、国土強靭化実施中期計画の策定時期を夏までに示した上で、令和6年内の早期に策定し、5か年加速化対策後も必要な予算を別枠で確保するよう要望します。

流域治水への財政支援

1.「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に実施するための予算確保
2.国土強靭化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保

■令和4年9月 台風15号 等

台風15号では市内一円に警戒レベル5を発令

■令和5年6月 台風2号に伴う豪雨

6月観測史上最大の累積雨量556mmを観測



近年、最大の浸水被害となった令和4年台風15号や令和5年台風2号など、激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、必要な予算確保及び継続的な予算の確保が必要
九領川、高良川、五反田川、有隣川等の河川事業や校庭貯留整備の推進及び加速化

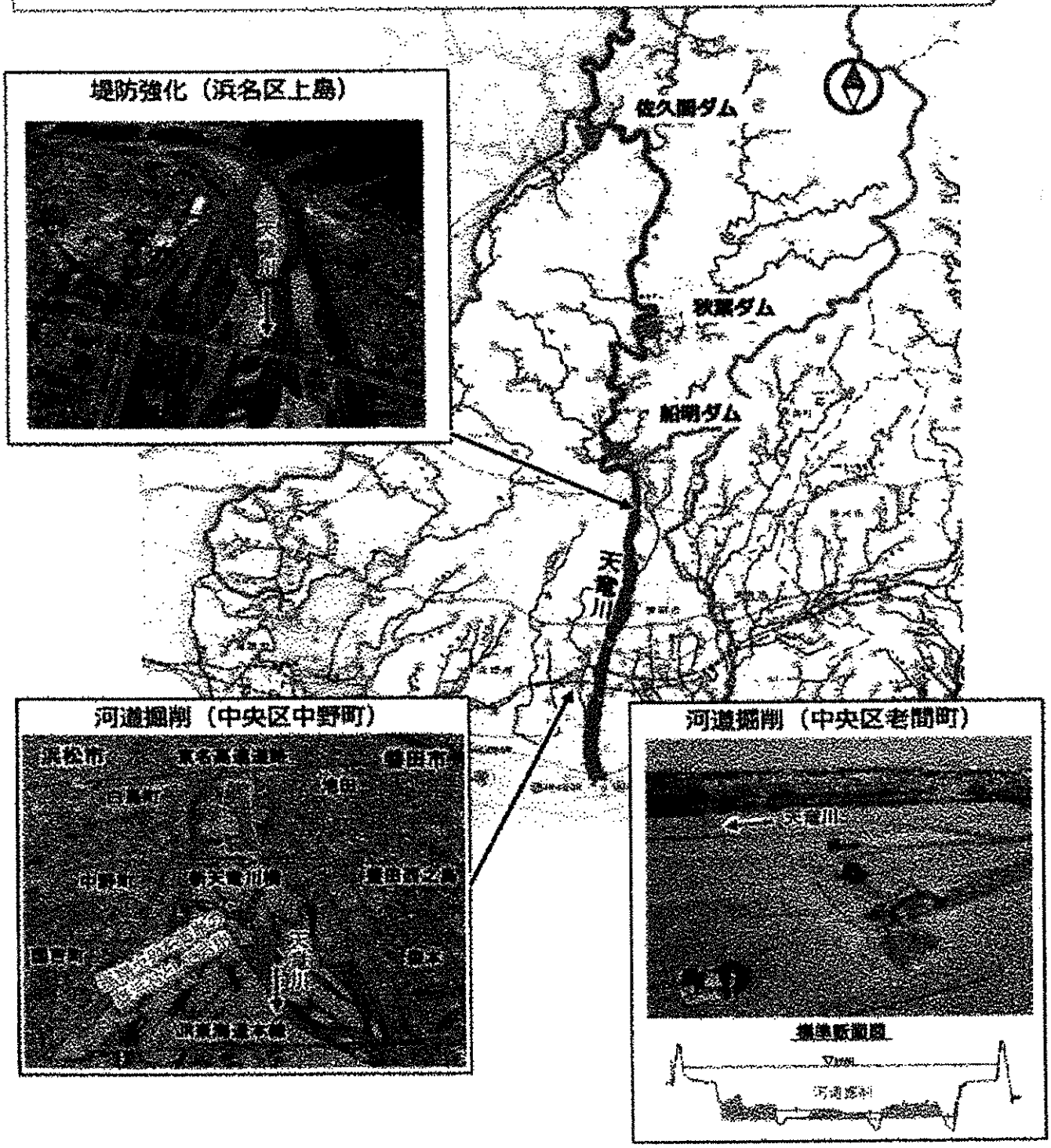
国に対する要望事項

浜松市　NO. 14

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川の河川事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川の堤防強化や河道掘削、樹木伐採など、必要な予算を確実に確保するとともに更なる河川事業の促進及び加速化を図るよう要望します。 また、河道掘削で発生した土砂は遠州灘海岸侵食抑制のための養浜事業へ活用し、静岡県が継続的に実施している養浜事業に対して助成を図るよう要望します。 さらに、大規模自然災害発生時において自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災した自治体の支援を行う「ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ」の体制・機能の拡充・強化を図るよう要望します。

天竜川の河川事業の促進

「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
1．治水事業全体の必要な予算確保
2．堤防強化や河道掘削などの河川事業の促進及び加速化
3．ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥの体制・機能を拡充・強化



国に対する要望事項

浜松市　NO. 15

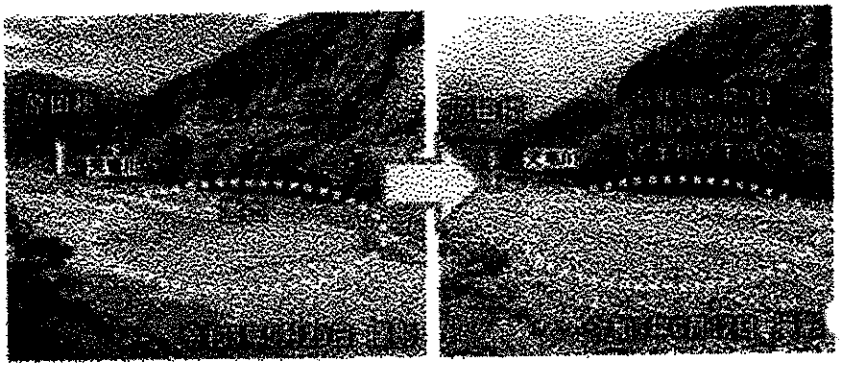
国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川ダム再編事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 佐久間ダムの集水面積は天竜川流域全体の約75%を占めています。これまで利水専用ダムであった佐久間ダムへ新たに洪水調節機能を確保することは天竜川中下流部の治水対策の要です。 また、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性が確保され、遠州灘海岸の侵食抑制にも効果が期待できます。 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川ダム再編事業の促進及び加速化を図るよう要望します。

天竜川ダム再編事業の促進

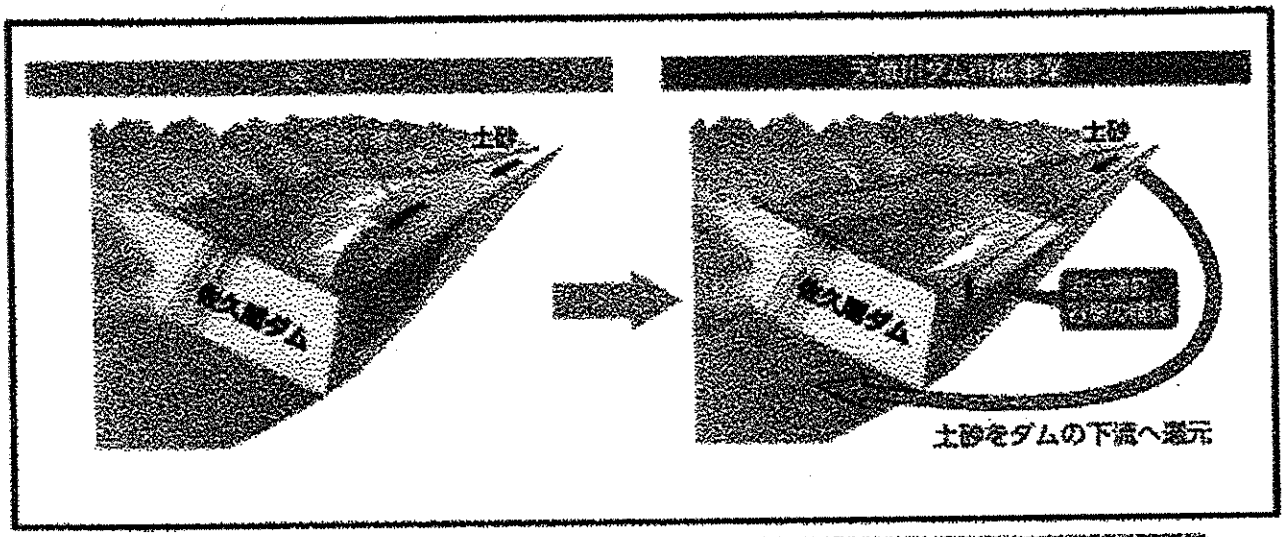
「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
- 佐久間ダムの洪水調節に必要な施設及び恒久的な堆砂対策施設の整備を促進し、早期に洪水調節及び土砂移動の連続性を確保



天竜川ダム再編事業の新事務所

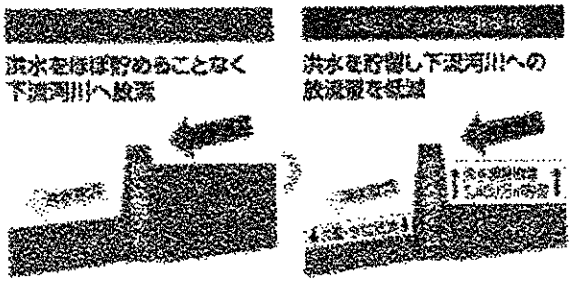


置土による土砂還元等を実施



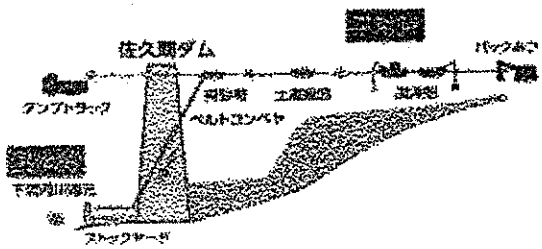
洪水調節

上流域の大雨による洪水をダムへ貯めることにより、下流河川を流れる洪水量を減らして、河川からの溢れや、堤防が壊れることを防ぐ。



恒久的な堆砂対策

平常時にダム発生土をダム下流側のストックヤードに運搬・集積して、洪水時にダム放流水を利用し、河川へ還元することにより、遠州灘海岸の侵食を抑制する。



防衛省

令和６年９月９日

令和７年度予算に関わる

要　望　書

防衛施設から生じる障害の防止等のための施策・防衛予算の拡充について（補助金・交付金）

浜松市議会 自由民主党浜松

国に対する要望事項

浜松市

国の所管	防衛省
市の所管	市民部　市民生活課
事項名	防衛施設から生じる障害の防止等のための施策・防衛予算の拡充について （補助金・交付金）
要　旨	（要望内容） 2023年度から5年間の防衛費を総額43兆円とし、更なる防衛力の強化として必要な防衛費の増額が見込まれています。 第41教育飛行隊が2021年10月美保基地の配備から浜松基地に編成移転がされました。住民説明会等理解を深め今に至っていますが、当初から懸念されていた飛行回数の増加、騒音問題については課題が残っています。 特に早朝夜間の飛行訓練は頻繁に行われ，住民からも安全面の不安や騒音などの苦情が寄せられている状況です。 そのため予算の共通基盤である基地対策等の推進として、本基地の周辺地域に対し3条、8条、調整交付金の予算の拡充について要望します。 （令和5年10月31日防衛大臣宛要望書提出、同日副大臣と面談）

（様式６）

E0902

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和６年　９　月１１　日　（水）			
出張先（目的）	中部運輸局・整備局（名古屋市） 令和７年度予算に係る国要望・調査			
出張者氏名	倉田　清一	平野　岳子	須藤　京子	
	井田　博康	久米　丈二		（計５名）

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	４５，１００　円	①②ＪＲ新幹線チケット代　５名分（浜松ー名古屋　往復） 【往復（自由席）（@4,510円 ×2 × 5名分）】27,060円+18,040円
〃	７，８２０　円	タクシー代　③④名古屋駅 － 中部運輸局　２台【1,850円+1,790円】 〃　⑤⑥中部整備局 － 名古屋駅　２台【2,030円+2,150円】
〃	１，８００　円	⑦駐車場代／浜松市駅南地下駐車場【浜松市役所～浜松駅 自家用車運転】
日　当	７，５００　円	@１，５００円　×　１日　×　５名分
合　計	６２，２２０　円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	6	2	2	2	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 6 年　9　月 12 日

代 表 者　会 長　倉田 清一 [redacted]

〈詳細〉

①②JR 切符代・③④⑤⑥タクシー代・⑦駐車場代（１台）　領収書添付

（様式８）

令和 ６ 年 ９ 月 ２ 日

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会 長　倉田　清一　様

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
氏 名　幹事長　平野　岳子[redacted]㊞

出 張 届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

倉田　清一 議員、　松本　康夫 議員、　平野　岳子 議員、　須藤　京子 議員
井田　博康 議員、　久米　丈二 議員、　中野　和幸 議員、　辻村　公子 議員
藤田　典良 議員、　鈴木　裕之 議員

（計 10 名）

２　期間及び出張先

令和６年 ９ 月 ９ 日（月）

東京都　各省庁

３　目的

令和７年度予算に係る　要望・調査

視察依頼書送付願

令和　　年　　月　　日

浜松市議会議長　　様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

自由民主党浜松 国(本省)要望 日程表

◆視察日程　令和 6 年 9 月 9 日(月)

◆視 察 先　要望及び調査活動（東京都）

◆視察議員　倉田 清一 議員、松本 康夫 議員、平野 岳子 議員、須藤 京子 議員、
井田 博康 議員、久米 丈二 議員、中野 和幸 議員、辻村 公子 議員、
藤田 典良 議員、鈴木 裕之 議員　（計 10 名）

◆集合時間　9月9日（月）　ＪＲ浜松駅 新幹線改札口　8 時 05 分 集合

9月9日（月）

新幹線ひかり 636 号(指定)　タクシー(3 台)
浜松駅 8：17 ＝＝＝＝＝ 9：42 東京駅 ――― 衆議院議員会館

10：50 衆議院第一議員会館正面玄関集合

《要望及び調査活動》11:00～17:00

1 ◆11:00～11:15 森山 裕 自民党総務会長 兼表敬 衆1-515 号室
《11:30～12:15》 昼食 衆1-B1 階内（第一会食）
2 ◆12:50～13:05 岸田 文雄 内閣総理大臣 兼表敬 首相官邸 5 階

※終了後 地下鉄にて移動
「丸の内」～「国会議事堂前」（霞が関 A7 出口）
（※浜松市東京事務所 山本副所長 合流）

※①～⑤省庁間 徒歩にて移動

① ◆13:30～13:45 農林水産省 3 階 大臣室 坂本 哲志 大臣
※終了後直ちに文科省 2 階受付へ（文科省職員迎え）
② ◆14:00～14:15 文部科学省 11 階 大臣室 盛山 正仁 大臣
③ ◆15:00～15:15 総務省 7 階 大臣室 松本 剛明 大臣
④ ◆15:45～16:00 国土交通省 4 階 副大臣室 國場幸之助 副大臣
⑤ ◆16:45～17:00 厚生労働省 10 階 副大臣室 濱地 雅一 副大臣

《17:00 解散》

終了後タクシーにて東京駅へ

新幹線ひかり 655 号
東京駅 18：03 ＝＝＝ 19：27 浜松駅

第一議員会館
千代田区永田町 2-2-1

城内東京事務所
TEL：03－3508－7441
城内代議士同行

浜松市東京事務所
千代田区平河町
都市センタービル
TEL：03－3556－2691

（様式11）

E0701

令和 6 年 9 月 10 日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者　会長　倉田　清一　様

要請・陳情活動に係る報告書

出張年月日	令和 6 年 9 月 9 日　（月）　1日間
出張先	東京都
出張の理由	令和7年度予算に係る要望・調査（各省庁）
出張者 氏名印	倉田　清一 [redacted]　松本　康夫 [redacted]　平野　岳子 [redacted]　須藤　京子 [redacted] 井田　博康 [redacted]　久米　丈二 [redacted]　中野　和義 [redacted]　辻村　公子 [redacted] 藤田　典良 [redacted]　鈴木　裕之 [redacted] （計 10名）

（出張の顛末）

1　要請・陳情先
　衆議院第一議員会館　・　首相官邸
　各省庁（農林水産省　・　文部科学省　・　総務省　・　国土交通省　・　厚生労働省）

2　要請・陳情内容
　別紙の通り

3　要請書・陳情書の有無
　㊀有　・　無　※有の場合は添付する

（備考）